

1on1支援ツールを 検討される企業の、 ツール評価観点と Kakeaiの機能。

2022年3月版

Kakeai



1on1支援ツールを検討される企業のツール評価観点

- 1on1支援ツールを検討される企業がツール選定において評価観点とされる項目は大きく4つです。

観点			概要
①	「継続的なメンバー主体の1対1コミュニケーション」を成立させ、一定のクオリティを生み出す仕組みが備わっているか。	(基礎的なクオリティ) 上下という関係が背景となって生じがちな、建前や勘違いや心理的なストレスを減らす仕組みが備わっているか。	1on1実施フローの工夫などにより、部下自身が話したいことを本音で話せて、上司が部下の期待を掴み、応えられる仕組みが備わっているか。
		(継続できる楽しさ・便利さ) 継続的・連続的なミーティングに耐える便利で楽な仕組みか。	日程調整やテーマ準備等の事前準備の簡便さ、実施時におけるビデオ通話内蔵・発生したToDoの管理・メモの管理等の負担を最小に抑える仕組みが備わっているか（日常的に仕様するOutlook・Teams、またはGoogle・Slackと連携できることは必須）
②	個々人の対人力やコミュニケーション力に依存することなく、継続的に対話の質を高める仕組みが備わっているか。		1on1のヒント提示・マネジャーへのフィードバック・マネジャー間のナレッジ共有等により、1on1の質を個々人の対人力やコミュニケーション力まかせすることなく継続的に改善していける仕組みが備わっているか。
③	多様な狙いや状況にフィットさせられる柔軟性があるか。		1on1実施の狙いや状況に合わせて、例えば、マネジャーからの日程設定・トピックの提案、必須や推奨トピックの設定、中長期視点での成長支援補助、他のシステムとのデータ連携等の柔軟性があるか。
④	1on1の推進を支える仕組みが備わっているか。		人事・HRBP・エグゼクティブが、各組織やマネジャーごとの1on1の実施状況や傾向を把握したり、現場への情報提供を一元管理できる仕組みが備わっているか。

ツール評価観点詳細とTakeaiの機能（1/4）

- ① 一定のクオリティを生み出す仕組みが備わっているか。
- ② 個人の力に依存することなく、継続的に対話の質を高める仕組みが備わっているか。
- ③ 多様な狙いや状況にフィットさせられる柔軟性があるか。
- ④ 1on1の推進を支える仕組みが備わっているか。

	シーン					対象				評価観点				評価項目	Takeai	一般的な1on1ツール
	1on1前	1on1中	1on1後	日常	その他	部下	上司	上司の上司	人事や経営	①	②	③	④			
1														日常的に使用しているカレンダーに登録されている情報をみながら1on1の予定を入れることができるか（OutlookやGoogleカレンダーとの同期・連携）	○	×
2														繰り返しでの1on1設定ができるか（例：毎週・木・13時～14時）	○	△
3														本システムで設定した1on1の予定が、日常的に使用しているカレンダーに自動反映されるか。	○	×
4														部下が1on1で会話したいテーマを設定できるか。	○	○
5														部下が1on1で上司に期待する対応の選択ができるか。	○	×
6														人事側で、対話して欲しいテーマを必須や推奨で設定できるか。	○	○
7														上司からの日程設定をすることもできるか。	○	○
8														上司からの会話したいテーマの提案もできるか。	○	○
9														事前に会話したいことについてメモしておくことができるか。	○	○
10														メモにファイルの添付ができるか。	○	×

ツール評価観点詳細とTakeaiの機能（2/4）

- ① 一定のクオリティを生み出す仕組みが備わっているか。
- ② 個人の力に依存することなく、継続的に対話の質を高める仕組みが備わっているか。
- ③ 多様な狙いや状況にフィットさせられる柔軟性があるか。
- ④ 1on1の推進を支える仕組みが備わっているか。

	シーン					対象				評価観点				評価項目	Takeai	一般的な1on1ツール
	1on1前	1on1中	1on1後	日常	その他	部下	上司	上司の上司	人事や経営	①	②	③	④			
11														1on1へ向けたやり取りができるか。	○	○
12														上司が事前に1on1実施についての対応のヒントを掴むことができるか。	○	×
13														ビデオ通話機能が内蔵されているか（対面実施でも問題ないという前提）	○	×
14														お互いが入力したメモをリアルタイムに確認し合えるか。	○	×
15														相手に非表示の自分用のメモを残せるか。	○	○
16														過去に実施した1on1の実施履歴やお互いに残したメモの確認ができるか。	○	○
17														お互いにToDoの設定ができるか。	○	△
18														ToDoに設定した内容や期限が日常的に使用するカレンダーに反映されるか。	○	×
19														ToDoごとのステータス（着手や未着手）や、緊急度や優先度を入力し確認しあうことができるか。	○	×
20														1on1後に上司から「上司の上司」や「人事」へ感じた様子や把握できたことを報告することができるか。	○	△

ツール評価観点詳細とTakeaiの機能（3/4）

- ① 一定のクオリティを生み出す仕組みが備わっているか。
- ② 個人の力に依存することなく、継続的に対話の質を高める仕組みが備わっているか。
- ③ 多様な狙いや状況にフィットさせられる柔軟性があるか。
- ④ 1on1の推進を支える仕組みが備わっているか。

	シーン					対象				評価観点				評価項目	Takeai	一般的な1on1ツール
	1on1前	1on1中	1on1後	日常	その他	部下	上司	上司の上司	人事や経営	①	②	③	④			
21														改善につなげるために、匿名で1on1の満足度等を入力することができるか。	○	×
22														上司自身に振り返りや改善のためのヒントが提供されるか。	○	×
23														上司が部下それぞれの成長の実感を確認することができるか。	○	×
24														各上司が持つ1on1やマネジメントに関する工夫や知見を組織全体で蓄積・展開できるか。	○	×
25														1on1や1on1に残したメモやToDoについてなど、メッセージのやり取りができるか。	○	△
26														意志の把握や、力やスキルのすり合わせや、育成プランの設定を補う機能があるか。	Option	×
27														部下ごとの特性を把握し関わり方の示唆を提供する機能があるか。	Option	×
28														相互理解を補う機能があるか。	Option	×
29														1on1実施状況を全社・部門・個人の単位で確認できるか。	○	○
30														1on1の満足度を全社・部門・個人単位で確認できるか。	○	○

ツール評価観点詳細とTakeaiの機能（4/4）

- ① 一定のクオリティを生み出す仕組みが備わっているか。
- ② 個人の力に依存することなく、継続的に対話の質を高める仕組みが備わっているか。
- ③ 多様な狙いや状況にフィットさせられる柔軟性があるか。
- ④ 1on1の推進を支える仕組みが備わっているか。

	シーン					対象				評価観点				評価項目	Takeai	一般的な1on1ツール
	1on1前	1on1中	1on1後	日常	その他	部下	上司	上司の上司	人事や経営	①	②	③	④			
31														1on1で会話されているテーマ等を全社・部門・個人の単位で確認できるか。	○	×
32														上司側の得意・苦手なテーマを全社・部門・個人の単位で確認できるか。	○	×
33														成長の実感を全社・部門・個人の単位で確認できるか。	○	×
34														各種データのcsv出力が可能か。	○	○
35														自社独自の推進やお知らせ用の掲示板があるか。	○	×
36														サーベイ機能や結果の可視化機能があるか。	○	△
37														他システムとのデータ連携対応が可能か。	○	×
38														データの連携によりユーザー登録・修正・削除の自動化対応が可能か。	○	×
39														社内勉強会、セミナー等の実施サポートがあるか。	○	○
40														状況に応じた利用方法や推進方法の提案やサポートがあるか。	○	○
41														メンターやメンティ、同僚等と自由に1on1が実施できるか。	○	×
42														TeamsまたはSlackと連携しており、1on1未実施期間・1on1設定時・メッセージ受信時・サーベイ時等に通知を受けとったり、サーベイへの回答ができるか。	○	×

Kakeaiは、
1on1支援ツールの
比較検討において
100%選定されています。

「継続的なメンバー主体の1対1コミュニケーション」を成立させ、一定のクオリティを生み出す仕組みが十分に備わっていることはもちろん、個人の力に依存することなく継続的に対話の質を高める仕組み、多様な狙いや状況にフィットさせられる柔軟性、推進を支える仕組みが備わっていることが理由です。

Kakeai

株式会社KAKEAI

contact@kakeai.co.jp